

日本小児病理研究会 会報 第43号

2007年10月10日

1. 第27回小児病理研究会

総務幹事 堀江 弘

平成19年9月8日(土)に浜崎 豊会長(静岡県立こども病院)のお世話により、国立成育医療センター・研究所において、第27回日本小児病理研究会が開催された。東海関東地区を直撃した前日の台風のなごりがみられたが、下記のような内容で盛会裏に終了した。

本会では、小児呼吸器疾患が主題としてとりあげられ、国立成育医療センター呼吸器科の川崎一輝先生による嚢胞性肺疾患についての特別講演を中心に、主題に関わる7演題、さらに3題の一般演題が発表され、活発な討論がかわされた。ことに川崎先生のご講演はCCAM、肺分画症、気管支閉鎖などの画像診断を中心とした内容で、病理形態学と密接に関連するものであり、われわれ病理医にとっても示唆に富むものであった。

小児病理研究会に引き続き、第4回小児病理セミナーが浜崎学会長、研究会共催で行われた。小児の脳腫瘍をテーマに臨床ならびに病理の立場から、下記の3名の講師によるご講演をいただいた。師田、原の両先生は臨床の立場から、病理への提言も含め分かりやすく、示唆に富む内容であった。平戸先生には小児に好発する脳腫瘍の新WHO分類における位置付け、新しい定義等について、多くの経験例を含めお示しいただいた。いずれのご講演にも美しいハンドアウトが添えられており、大変有意義なセミナーであった。

◎ 小児の脳腫瘍

1. 小児脳腫瘍：脳神経外科手術の実際と病理の役割
師田 信人先生(国立成育医療センター・脳神経外科)
2. 小児脳腫瘍に対する化学療法の進歩
原 純一先生(大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科)
3. 小児脳腫瘍の病理
平戸 純子先生(群馬大学医学部附属病院病理部)

2. 幹事会・総会

1) 幹事選挙結果報告

本年6月に締め切られた幹事選挙について、7月23日開票され、その結果は以下の通りであった。(敬称略)

開票結果：投票総数 32 通

北條洋 21 票、藤本純一郎 16 票、森川征彦 14 票、岸本宏志 11 票、
(次点) 井上健 9 票

幹事選挙の結果により幹事会は以下の先生方で構成されることとなった。

田中 祐吉、堀江 弘、中川 温子、中山 雅弘 (残任期間 2 年)

北條 洋、藤本純一郎、森川征彦、岸本宏志 (残任期間 4 年)

新監事には井上 健が推薦され承認された。

2) 幹事会業務について

堀江総務幹事より総務幹事の交替が提案され、協議の結果、本研究会後より、中山幹事が担当することとなった。なお、広報担当 中川、渉外担当 藤本、研究・研修担当 田中の各幹事はそれぞれ留任となった。

3) 平成 18 年度会計報告および平成 19 年度予算案について

事務局より下記の報告が、森川監事の監査結果を沿えて呈示され、承認された。ただし、今後ホームページ管理費についての臨時支出が見込まれることを含みとすることで承認された。

4) 第 27 回日本小児病理研究会について

浜崎 豊会長より研究会の状況が報告された。

5) 第 28 回日本小児病理研究会について

小木曾副会長 (長野県立こども病院) より、信州大学医学部において平成 20 年 9 月 6 日 (土) 開催を予定しているとの報告があった。

6) 次期副学会長選出

平成 21 年開催の第 29 回日本小児病理研究会会長として藤本純一郎先生 (国立成育医療センター研究所) が推薦され承認された。

7) 討議事項

今後の研究会のあり方について、ことに小児セミナーならびに小児腫瘍症例検討会などを含めた、あり方について積極的な意見がかわされたが、結論を得るにはいたらず、中山新総務幹事、田中、中川、堀江幹事を中心に継続検討することとなった。

3. 平成 18 年度決算および 19 年度予算案

収入の部			19 年度予算		
会費	305,000	円	会費	300,000	円
前年度繰越金	861,226	円	前年度繰越金	797,844	円
郵便貯金利息	34	円	郵便貯金利息	459	円
第 3 回小児病理セミナー会費	96,000	円	第 4 回小児病理セミナー会費	100,000	円
小計	1,262,260	円	小計	1,198,303	円
支出の部					
学術集会補助	300,630	円	学術集会補助	301,000	円
事務/通信費	17,040	円	事務/通信費	30,000	円
IPPA 会費	20,996	円	IPPA 会費	22,000	円
会報送料 (39, 40, 41 号)	24,080	円	会報送料	30,000	円
ホームページ運営費	5,670	円			
第 3 回小児病理セミナー費用	96,000	円	第 4 回小児病理セミナー費用	100,000	円
小計	464,416	円	小計	483,000	円

4. 新入会員紹介

本年度より入会された先生方です。皆様よろしくお願ひいたします。

永井雄一郎先生	千葉大学大学院医学研究院病態病理学
下田将之先生	慶応義塾大学医学部病理学教室
福島裕子先生	大阪市立総合医療センター病理部
久保勇記先生	大阪市立総合医療センター病理部

5. 事務局より

1) 平成 19 年度会費納入のお願い

本会規約により、本会会費は年間 5,000 円となっております。

平成 19 年度会費未納の先生には振込用紙を同封いたしましたので、お手数ですが、会費の納入をお願いいたします。会費納入について不明の点は事務局松岡までご連絡ください。

2) 第 8 回小児医学川野賞候補者推薦について

例年のように今年も川野小児医学奨学財団より第 8 回小児医学川野賞候補者推薦依頼がございました。応募の希望がございましたら事務局までお問い合わせ下さるようお願い申し上げます。同賞は小児医学、ことに基礎医学あるいは臨床・社会医学に関する研究で、優れた業績をあげ、学術の進歩に貢献した国内研究者を対象とするものです。なお、締め切りは平成 18 年 10 月末日となっております。ご案内が遅くなり、申し訳ございませんがよろしくお願い申し上げます。ホームページは <http://www.kawanozaidan.or.jp/> です。

3) 地区集会のご案内

第 109 回関東東海地区病理カンファレンス

2008 年 2 月 1 日(金)17 時半より

於；国立成育医療センター病院

世話人 中川温子(国立成育医療センター臨床検査部病理)

電話 (03)3416-0181

第 59 回関西小児病理研究会

2008 年 1 月 12 日(土) (予定)

於；大阪市立総合医療センター

世話人 吉田 牧子(兵庫県立こども病院検査・放射線部 病理室)

電話 (078)732-6961

4) 日本小児病理研究会の会員数は平成 19 年 10 月 1 日現在 96 名です。

ご所属、ご連絡先の変更、入退会につきましては、E-mail または FAX にて事務局へご連絡ください。

日本小児病理研究会事務局

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療センター臨床検査部病理検査室内

松岡 健太郎

TEL : (03)3416-0181 FAX : (03)5494-7136

本研究会のホームページ : <http://www.ibmd.jp/~jspp/>